

車も、自転車も、歩行者も

人身交通事故をなくすために

市内の人身交通事故件数は、2011(平成23)年以降、12年連続で減少しているものの、2023(令和5)年は1年間に4,999件もの人身事故が発生しています。その内訳を見ると、追突事故・出会い頭事故がおよそ70%を占めています。

車を運転する人はもちろん、自転車を利用する人、歩行者を含め、市民みんなが交通事故のない、安全・安心な魅力あるまちをつくりましょう。



70%が

追突や、出会い頭事故

チェックポイント注目!!

交通事故防止のキーワードは

予測する

人や車が来るかもしれないという意識を持つ



止まる

赤信号や一時停止場所ではしっかり止まる



見る

左右、前後、周りが安全かどうか目で確認する



待つ

心、時間にゆとりを持ち、安全が確保されるまで人や車の経過を待つ



交通事故を防ぐポイント

◆車、バイクを運転する人

- ◎前方、左右をしっかり見ましょう
- ◎車間距離を十分取りましょう
- ◎信号・一時停止を守りましょう
- ◎見通しが悪い交差点は徐行しましょう

◆自転車を運転する人

- ◎信号・一時停止を守りましょう
- ◎左側通行の原則を守りましょう
- ◎ヘルメットをかぶりましょう



◆歩行者

- ◎横断歩道を渡りましょう
- ◎横断する意思を示しましょう
- ◎横断時は、安全確認をしましょう
- ◎夜間は反射材を着けましょう

Check! ^{やばねがた} 矢羽根型路面標示

車道に自転車の通行位置を示し、自動車ドライバーへ注意喚起をする青い矢印



◎浜松市の取り組み

広報啓発

交通安全運動、毎月10日の「市民交通安全の日」街頭広報のほか、イベントや広報番組などで交通安全を呼び掛けています。

「ゾーン30プラス」の整備

学校周辺などのエリア対策として、速度30km/hの区域規制に合わせて、車を走りにくくする構造物を設置し、スピードや抜け道利用を抑制します。

AIを活用した交通事故危険度予測

交通事故データ、道路構造などのデータをAIに学習させ、交通事故のリスクが高い場所を分析して対策を実施するとともに、地図アプリ(Google Map)で公表しています。



HP▶ [浜松市危険予測箇所マップ](#) 検索

